

疫学（看護2年） 2012年10月12日 計算練習

*図は、ある危険因子について、上が曝露群10人の、下が非曝露群10人の観察結果である。実線が健康で観察中であることを示し、×が発病を示し、破線が病気で観察中であることを示し、黒丸が死亡、白丸が治癒を意味する。

- (1) 2008年における曝露群の有病割合(prevalence proportion)を計算せよ
- (2) 2008年における非曝露群の有病割合(prevalence proportion)を計算せよ
- (3) 全観察期間について、曝露群のリスク(risk=cumulative incidence rate)を計算せよ
- (4) 全観察期間について、非曝露群のリスク(risk=cumulative incidence rate)を計算せよ
- (5) 全観察期間について、曝露群の罹患率(incidence rate)を計算せよ
- (6) 全観察期間について、非曝露群の罹患率(incidence rate)を計算せよ
- (7) この危険因子曝露による疾病発症の罹患率比(incidence rate ratio)を計算せよ
- (8) この危険因子曝露による疾病発症のリスク比(risk ratio)を計算せよ
*罹患率比とリスク比を総称して相対危険(relative risk)と呼ぶ
- (9) この危険因子曝露による疾病発症の罹患率差(incidence rate difference)を計算せよ
- (10) この危険因子曝露による疾病発症のリスク差(risk difference)を計算せよ
*罹患率差とリスク差の総称は超過危険(excess risk)や寄与危険(attributable risk)
- (11) この危険因子曝露による疾病**有り**の 2008年におけるオッズ比(odds ratio)を計算せよ
- (12) この危険因子曝露の寄与危険割合(attributable risk proportion=attributable fraction)を計算せよ

